

第2期桐生市子ども・子育て支援事業計画
(令和2年度～令和6年度) 計画変更(案)

第4章 計画の推進方策

基本目標1 乳幼児期の教育・保育・地域における子育て支援

1 量の見込みと提供体制、確保の方策

(1) 教育・保育施設の充実

①幼稚園・認定こども園（1号及び2号認定、3～5歳児）【提供区域：市全域】

【市の現状】

入園児童数（1号認定）は、平成27年度以降600人前後で推移しており、平成31年4月現在では533人となっています。年度途中での入所があり、徐々に増加していきます。なお、市内には、市立幼稚園7園、私立認定こども園19園があります。

【量の見込みと確保方策】

（単位：人）

区分		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
① 量 の 見 込 み	1号認定	550	517	492	476	460
	2号認定	0	0	0	0	0
	小計①	550	517	492	476	460
② 確 保 方 策	特定教育・保育施設（幼稚園・認定こども園）（利用定員の合計）	877	826	835 860	835 830	835 830
	確認を受けない幼稚園	0	0	0	0	0
	小計②	877	826	835 860	835 830	835 830
小計②－小計①（過不足）		327	309	343 368	359 354	375 370

※量の見込みは、各年度3月1日時点の園児数の合計です

【確保方策について】

- ◆子どもの数が減少する中で、地域とのニーズの調整を図りながら、引き続き、適正な利用定員を確保しつつ、子育て世帯を支える環境を整備します。

②保育所・認定子ども園（2号認定、3～5歳児）【提供区域：市全域】

【市の現状】

3歳以上の入所児童数（2号認定）は、平成27年度から約11%減少し、平成31年4月現在では1,496人となっています。なお、市内には、公立保育所4園、私立保育所10園、私立認定こども園19園があります。

【量の見込みと確保方策】

（単位：人）

区分		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
① 量の見込み	2号認定	1,470	1,460	1,388	1,344	1,290
② 確保方策	特定教育・保育施設（保育所・認定こども園） （利用定員の合計）	1,574	1,481	1,483 1,443	1,483 1,443	1,483 1,443
②－①（過不足）		104	21	95 55	139 99	193 153

※量の見込みは、各年度3月1日時点の園児数の合計です

【確保方策について】

◆子どもの数が減少する中で、地域とのニーズの調整を図りながら、引き続き、適正な利用定員を確保しつつ、子育て世帯を支える環境を整備します。

③保育所・認定こども園（3号認定、0～2歳児）【提供区域：市全域】

【市の現状】

3歳未満の入所児童数（3号認定）は、平成27年度から約6%減少しており、平成31年4月現在では880人となっています。年度途中での入所が多く、月々増加していきます。なお、市内には、公立保育所4園、私立保育所10園、私立認定こども園19園があります。

【量の見込みと確保方策】

（単位：人）

区分		R 2 年度	R 3 年度	R 4 年度	R 5 年度	R 6 年度
① 量 の 見 込 み	3号認定	1,084 (268)	1,049 (259)	1,016 (252)	984 (244)	956 (237)
② 確 保 方 策	特定教育・保育 施設（保育所・ 認定こども園） （利用定員の合 計）	1,149 (277)	1,113 (260)	1,113 (260) 1,052 (255)	1,113 (260) 1,056 (258)	1,113 (260) 1,062 (261)
②-①（過不足）		65 (9)	64 (1)	97 (8) 36 (3)	129 (16) 72 (14)	157 (23) 106 (24)

※量の見込みは、各年度3月1日時点の園児数の合計です
また、（ ）内は、0歳児の人数（内数）です。

【確保方策について】

◆子どもの数が減少する中で、地域とのニーズの調整を図りながら、引き続き、適正な利用定員を確保しつつ、子育て世帯を支える環境を整備します。